

将来構想（解析可視化）

解析

- デフォルト関数を増やす
 - EOF, ヒストグラム, etc
- 選択された変数に応じて選択できる関数を変えることができる
 - たとえば、U, V, (W), Tが選ばれていたらEPフラックスの計算が選べるとか

可視化

- 図の種類を増やす
 - 1Dx2図
 - Hopみたいな折れ線、散布図
 - 箱図、棒図
- 図のある場所をクリックすると、その座標を取得し、その座標での別の値の図を描くことができる

その他

- OpenDAP サーバーとの連携
 - 他サーバーのOpenDAP netcdf のデータベースに登録できるようにする
 - テンポラリに追加して利用できる

ワークフロー

- ブラウザを通じて、マウスで解析描画する以外に、スクリプトでやりたい
 - 同様の操作を繰り返す
 - Gfdnaviが用意していないことを行いたい、ある部分は用意されているので、それと組み合わせで使う
- 現状でも、ある特定の図を描画するには、特定のURLにアクセスすればできる
 - 問題点
 - 返ってくるのはhtmlで、その中から図を得るのはちょっとだけ面倒
 - 解析機能は使えない
 - 検索、解析との連携はできない

- 例えば、解析&描画するのはこんな感じ

```
require 'soap/wsdlDriver'
```

```
uri_wsdl =  
  'http://localhost:3000/webservice_analysis/service.wsdl'  
variables = ["/samples/reanalysis/ncep/T.jan.nc@T"]  
params = {"function"=>"mean", "function_arguments"=>["0"], ... }  
driver = SOAP::WSDLDriverFactory.new(uri_wsdl).create_rpc_driver  
result_analysis= driver.Analysis(variables, params )
```

```
uri_wsdl =  
  'http://localhost:3000/webservice_analysis/service.wsdl'  
variables = [ result_analysis[0] ]  
params = {"y_axis"=>nil, "draw_keep"=>nil, "color_bar"=>nil, ... }  
driver = SOAP::WSDLDriverFactory.new(uri_wsdl).create_rpc_driver  
result_draw= driver.Draw(variables, params )
```

- あのスクリプトを自分で書くのはちょっと面倒

- ブラウザ上でマウスで作れる機能

- その場で実行
- スクリプトのダウンロード

- まだ試作段階

http://localhost:3000/work_flow